市民ひろば

発行人　市民ひろば編集委員会
〒411−0858
三島市中央町3−32 小出ビル3F
代表　小野 啓一
電話：055−994−9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替　00870−5−153264
市民ひろば

ひろば新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ

書き留めて ③
あさの かずこ

シャンソン低く流れて街裏に
目開き横たうフランス人形
半島はブーメランのごと揺れ
動きありらん峠に春は遠のく

都市づくりの基本姿勢が問われる

市民不在の三島駅南口開発始動

三島駅南口再開発問題はこれまで浮かんでは消えの繰り返しであった。特に南口東側は店舗が老朽化し、ガードを潜り日大通りに至る付近は戦前の面影も感じる古さである。さて、この南口再開発が本当に軌道に乗るのか、市民の視線は懐疑的である。

三島市が再開発を考えている用地は現在南口駐車場として使用している三島駅南口公共用地約0.9haと周辺のお店の用地約0.4haである。

公共用地は平成9年（97年）国鉄清算事業団から三島市土地開発公社が二十億円近い金額（1平方m当たり21万円）で公共用地、駅前再開発用地として取得した。国鉄時代は国鉄貨物取扱用地とし日本通運なども使用していた場所である。

その後約18年間は駐車場が少ない地域なので、駅前駐車場用地として使用し、それなりの収益を上げていた。現在土地開発公社は駐車場として駐車場管理会社タイムスに年間およそ一億数千万円で委託運営させている。

その土地の再利用と駅前の再開発を目指し、平成24年に三島市が構想を打ち上げ、本年度予算に委託費が計上されて具体的な構想をUR 都市再生機構）に委託し、デザインが出来上がった。URの出した再開発構想は高層マンションと商業施設建設を基本としたもので、どこでもある陳腐なものだ。

ところが、三島市はそれをもとにして多数の事業者に　どのような構想で再開発するか」のアンケート調査を実施中。締め切りが3月18日ということで慌ただしい状況になっている。

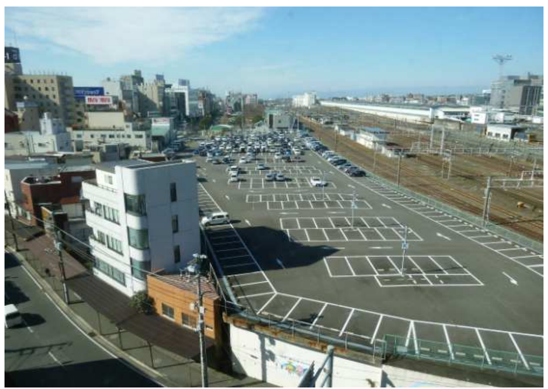
今、市民が主人公の公共用地の有効利用を考えようとNPO法人グランドワークを中心に「考える会」が12月に発足し、会合を重ねている。

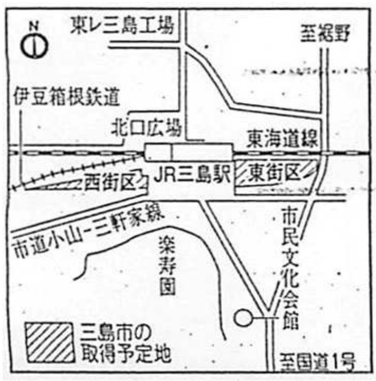
大事な公共用地である。三島全体に波及効果があり、市民も納得できる新しい発想の再利用が絶対に必要だ。

三島市は周辺私有地を含めて区画整理事業として考えているようだが、買い上げしたうえに取り付け道路建設の保障費も考えているようだ。こうなってくると無意味な財政負担だけが残り、高層マンションが建つ陳腐な伊豆の玄関になりかねない。

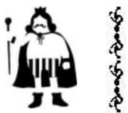
三島駅南口開発については数年前にパブリックコメントしているからもう市民の意見は聞く必要はないと考えているようであるが、溶岩の基盤を壊すことは三島の湧水を作っている水脈に大きな影響を与える可能性もある。また、補償費だけで20数億円近い金額になるという話も聞こえてくる。

経済状況を含めていろいろと変化している中で、三島市は黒いうわさが立たないようにしっかりと情報公開をし、市民の意見を聞くべきである。（O）


三島駅南口東側から見た開発予定地



1997年、三島市の取得した土地



裸の王様

参院選と反改憲国民運動

毎日新聞の行った1月30、31日の全国世論調査によると、安倍内閣の支持率は51％で、昨年12月の前回調査から8ポイント上昇したとのことだ。28日には甘利前経済再生担当相が金銭問題で辞任したばかりだというのにである。このニュースを見た時、一瞬目を疑った。マスコミの“捏造”ではないかとさえ思った。しかし、これが現実だとすると何が原因なのか。

ここ数年、日本の国民世論は右傾化したといわれている。それも民主党政権が崩壊し、3年前に第2次安倍政権が成立して以降、右傾化の速度は顕著だ。

12年12月、失政を重ねた野田民主党政権は国民の圧倒的な不評の中で政権を放り出し、安倍政権の誕生を許した。この時、民主党が失ったものは余りにも大きかった。政権の受け皿基盤を根こそぎ失い、一強多弱の取り返しのつかない政治状況をつくり出してしまった。

14年4月、安倍政権による消費税8％値上げ後の12月解散総選挙において、政権側の敗北を予想していたが、自公政権は全体で数を増やした。

10年7月の参院選以降、自公は4回連続して勝利している。以前のように選挙での揺れ戻しが起こらない。右に世論が傾いたまま固まってしまっている。しかもバランス感覚を欠いた国民世論は格差が拡大してもアベノミクスに騙され続けても、中枢閣僚の酷い汚職が発覚しても、その支持率が増加していることは殆ど理解不能だ。

しかし、安倍政権の支持率の中身は別の世論調査によると硬い支持は案外少なく、支持の中でも　他によさそうな政権が無いから」という回答が過半数を超し、原発再稼動に反対という声も6割に達している。この右に傾いて固まった国民世論を解きほぐし、バランス感覚を取り戻すには、国民の信頼を集めた　政権受け皿可能」な政党や政治勢力の存在が不可欠だ。

民主党にそのような役割が期待できないところに現状の難しさがある。それならいっそ既存の政党から離れて、著名人、文化人、学者や安倍政権の暴走に危惧する、あらゆる国民諸階層が手を携え、「反改憲国民運動」という名の参院比例区統一名簿を作り、それに結集し、参院選に打って出たらどうだろうか。多くの国民の喝采を受け、比例定数96で半数近く議席を取れば、改憲阻止の防波堤にはなりうると思える。現状のまま小党乱立で比例区を戦えば殆どの議席は大政党にさらわれてしまう。

いよいよ参院選まで半年を切った。このままでは改憲勢力が3分の2を制するのは避けられない情勢だ。それに対抗できるのは全野党共闘しかない。しかし、全体をまとめるべき民主党は混乱し、全国32ある1人区での統一候補は熊本だけに留まっている。しかも比例区での統一名簿は全く目処すら立っていない。（H）

3・11 福島原発震災から5年
「日本と原発」続編上映会
3月5日　三島市民会館

福島原発震災後、続々噴出する課題も未解決のなか、国内の原発は4基も稼働を始めました。原発反対派か？それとも推進派か？などと対立している場合ではなく、今や世界全体で考えるべき課題ではないでしょうか。

弁護士・河合弘之氏は2014年、国民に原発の危険性を理解してもらうため、「日本と原発　私たちは原発で幸せですか？」という映画を作りました。この映画は原発の仕組みや歴史、社会構造などを原発の知識のない人にもわかりやすく説明しています。河合監督は「これ1本で原発を取り巻くすべての問題を提起します。映画鑑賞後、ご自身で原発についてご判断ください」と言っています。

この映画は昨年1年間で1022回自主上映され、観客数は7万人以上にも上りました。また、キネマ旬報ベストテンに入賞しています。監督はこの映画を各地の原発裁判に証拠資料として提出し、すでに10回ほど法廷で上映されています。

3月5日、三島でその続編「日本と原発　4年後」を2回上映します。続編は原発推進派にも取材し、東電は15ｍを超える津波を予測していたがその対策をやりかけて止めてしまったこと」テロと原発の問題」安倍首相が世界に向かってついた嘘」などを新たに加え、昨秋完成した新作です。

第二部は 新垣隆の演奏付き

この映画のための交響曲「フクシマ」を作曲指揮しているのは、交響曲「ヒロシマ」のゴーストライター新垣隆氏です。今回、この三島上映会での演奏を快諾いただきました。当日は得意とする即興演奏を聴かせてもらえるはずです。

「日本と原発」の DVD発売開始

本体価格（3,800円 税込み4,104円）お申込みはアマゾンへ。

（市民ひろばでは毎月、第1作の「日本と原発」を上映してきましたが1月末、DVDが発売開始されたのに伴い、上映を終了します。今後はDVDをご活用ください。上映会当日にも販売します。）（S）

百千鳥

▼本当に人間はいいものかしら」有名な新美南吉の　でぶくろを買いに」。無事手袋を買って帰ってきた子ぎつねが　かあちゃん、人間ってちっともこわかないや」というと母ぎつねが半信半疑で呟くラスト部分のセリフです。私の大好きな作品です。

▼最近の色々な出来事を見聞きすると、私も母ぎつねと同じ気持ちが拭えません。でも最近、やっぱり人間っていいものなんだ」と子ぎつねに同感する場面に出あいました

▼腰痛と高齢とで、タクシー・乗用車以外の公共の乗り物で移動することのできないここ4・5年。たった一段の乗り降りの段が怖いのです。先日思い切ってシャトルバスに乗って病院に行きました。シャトルバスなら始発から終点まで座っていられます。いよいよとなったらドライバーさんに手助けして貰えると。

▼手すりにしっかりつかまり足を上げた。ところが上がらない。あせれば焦るほど金縛りにあったように足が上がらないのです。とその時、後ろにいらした方が　失礼しますよ」と私のお尻をそっと押し上げてくれたのです。病院に着きました。運転手さんに手を添えて貰おうと前の方に行くと、さっきとは違う方が、私の手にご自分の腕を軽く組んで　ゆっくりね」と言って隣に立っておろして下さいました。

▼たったこれだけのこと？と思われるかもしれませんが、障害者・高齢者にとってはたったこれだけのこと?、が、これだけの事ではなく、心に残るうれしいことなのでした。（MY）

3.11 福島原発震災から5年
「日本と原発　4年後」上映会
～新垣隆の生演奏付き～

3月5日（土）　第1回：13時　第2回：17時半
会場　三島市民文化会館小ホール
チケット　前売：1,000円　当日：1,500円

第1回：開場 12:30 上映 13:00 演奏 15:40終了 16:20
第2回：開場 17:00 上映 17:30 終了 19:50

新垣隆：この映画のために、交響曲第２番として「フクシマ」を作曲・指揮
（交響曲第１番が「ヒロシマ」で、佐村河内守のゴーストライターとして話題となった）

連絡先：055-994-9211（市民ひろば）　shimin_hiroba@ybb.ne.jp

2月のひろば企画

小水力発電の実際
エネルギー地産地消の実践
＝　現地見学と講演　＝

11 月企画でお話しいただいた岡本さんに
小水力で発電をしている現場を見ながら、
災害時の電力利用やエネルギーの地産地消の
可能性について一緒に考えていきます。

2 月 21 日（日）

13:00　三島市役所集合（車に分乗して現地へ）
13:20～　現地見学会（長泉町桜堤）
14:40～16:00　市民ひろばにて講演・討論

講　師　岡本欣訓（おかもとよしのり）さん
参加費　700 円（予約 500 円）

予約&問合せ　tel 055-994-9211
fax 055-976-2656
e-mail yoyaku@shimin-hiroba.org

東電元役員の刑事責任を問う裁判を支援する
「福島原発事故刑事訴訟支援団」
入会受付中！

ぜひ支援団に入会し、一緒に
原発事故刑事裁判を支えましょう！

入会申込みは、「原発事故刑事訴訟支援団」
HP よりオンライン入会申込みをご利用ください。

※年会費は一口 1,000 円から。
※メール・郵送でも入会申し込みができます。
申し込みの際はお名前・ご住所・電話番号
メールアドレスをお知らせください。

福島原発刑事訴訟支援団
〒963-4316 福島県田村市船引町芦沢字小倉 140-1
080-5739-7279　shiendan311@gmail.com
http://shien-dan.org/

トータルビューティ
TAYA
代表
美の匠　田屋有季子
花嫁着付・一般着付
カット＆パーマ
フェイスリンパマッサージ
〒411-0801
三島市谷田 243-2
TEL&FAX 055-981-8019
携帯 090-8154-4324